

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394000042
事業所名	グループホーム サマリヤの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 地域の高齢者福祉の担い手として、ホームが大きな役割と自覚を持ち、地域からも信頼と期待とを寄せられる存在となってきた。 地元中学校の吹奏楽部の生徒がボランティアとして訪れ、庭に出て春の陽光の下で、利用者に素敵な演奏をプレゼントしてくれた。電話での聞き取り中に、地域の農家から“赤い葉っぱ”が差し入れられ、早速利用者が調理を始めた。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 利用者、家族、地域包括支援センター職員、民生委員、寿会(老人会)代表、他ホームの管理者等々を集め、年間6回の運営推進会議が有効に開催されている。 会議メンバーの一人は文科省の体育指導委員を務めており、直近の会議では、利用者を対象としたニュースポーツ(グランドゴルフ等)に関する情報を提供している。	評価 ○
重点項目③	市との連携の下、毎月開催の「あんのん喫茶」(認知症カフェ)が3年目を迎えるようとしている。来場者の数が毎回30名を超える盛況ぶり、市・社協からボランティアが10名程応援に駆けつける。 会場は、近隣施設の「シルバー人材センター」を借用し、大勢の来客にも対応が可能となっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 写真をふんだんに使った「便り」を毎月発行しており、ホームの状況や利用者の様子・近況を家族に伝えている。 運営推進会議にも家族の参加があるが、毎年の家族懇談会には多くの家族が参加し、忌憚のない意見交換を行っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	×	○	○	○	○	○	◎		